



ITイノベーションにあたって 解決すべき8つの課題

2016年に向けてIT部門が直面する重要課題

IPSWITCH

イントロダクション

業務上重要なアプリケーションとインフラストラクチャを高いパフォーマンスで稼動させ続けるために、IT部門が解決すべき重要な課題は何でしょうか？

IT部門では、ネットワークが問題なく稼動し、業務が円滑に進むよう、縁の下からインフラストラクチャを支えています。毎日の仕事量が多い上に、サイバー攻撃に対処したり、新しいテクノロジーの知識を仕入れたりしなければならないIT部門が、ITイノベーションを実現させるには解決すべき困難な課題があります。特に人件費や予算の制限が強い中小企業のIT部門では、メンバーがジェネラリストであるとともにスペシャリストでもなければならず、いつそう大変です。

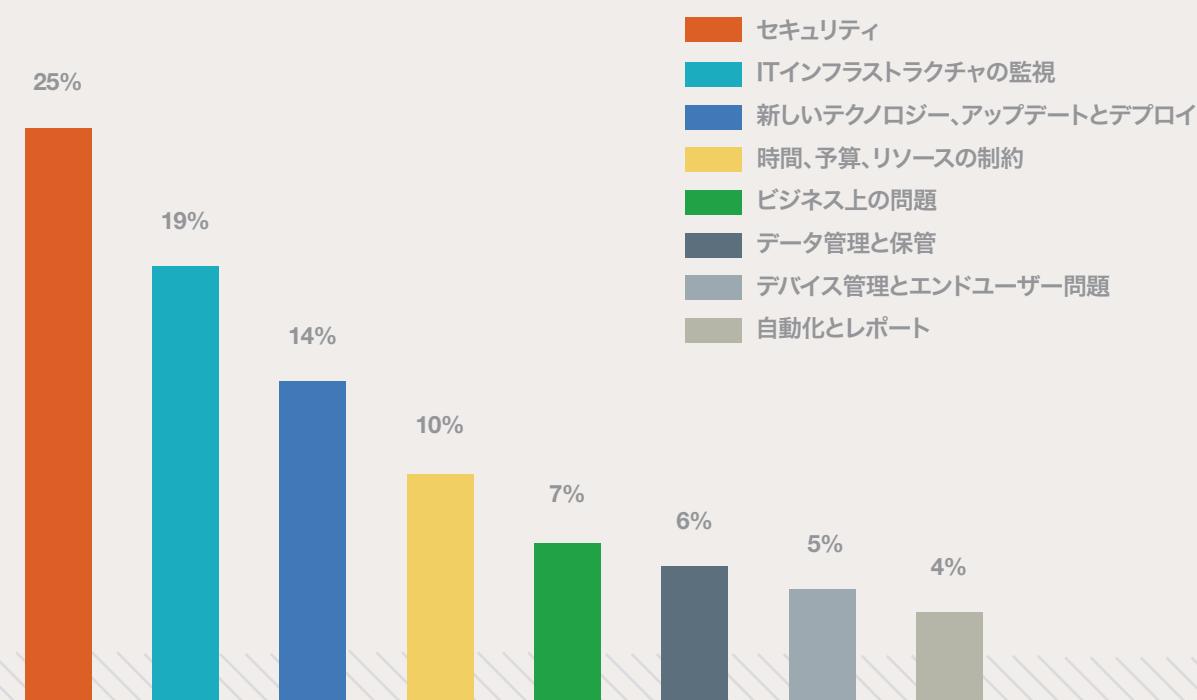
組織で事業を進めるにあたってはシステムが支障なく稼動することが前提になっています。その根幹を支えるIT部門には、困難な課題を克服してITイノベーションを進めることが求められます。そこで、2016年に向けてITイノベーションを進めるのに、IT部門が解決すべき課題についてイプスイッチ社で調査分析を行いました。

調査概要

2015年7月、イプスイッチ社から世界の様々な国のIT担当者に2016年に向けて考慮すべき課題についてのアンケート調査を行い、2,685人から回答を得ました。アンケート内容は大変シンプルで、IT部門にとって最も困難な課題は何かを問うものでした。ウェブ・ベースの質問へのリンクがついたメールを国際的なITデータベースを利用して得られたメールアドレスに送るという形で実施されました。地域情報は調査結果の中に含まれており、次のように分類されます。北アメリカ地域が最大の割合、61パーセントを占めました。ヨーロッパ・中東・アフリカ地域がそれに次いで24パーセント、そしてアジア・太平洋地域が12パーセント、ラテンアメリカ・南アメリカ地域は3パーセントでした。2,685人からの回答は、以下の8項目に分類されました。

- セキュリティ
- ITインフラストラクチャの監視
- 新しいテクノロジー、アップデートとデプロイ
- 時間、予算、リソースの制約
- ビジネス上の問題
- データ管理と保管
- デバイス管理とエンドユーザー問題
- 自動化とレポート

このホワイトペーパーでは、アンケート結果を概説し、全世界のIT部門が対峙する問題について考察します。





#1. セキュリティ

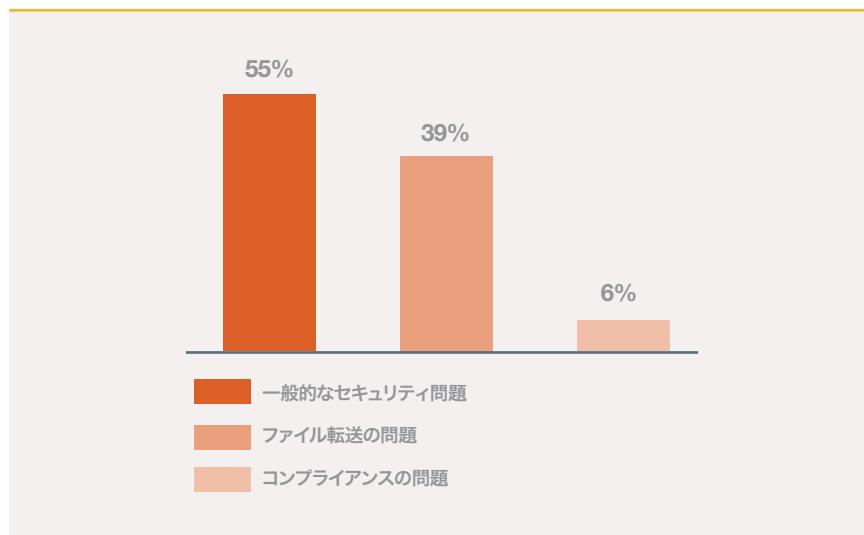
セキュリティが重要課題のトップで、全体の25パーセントを占めました。

セキュリティを最重要課題とした人たちのうちの半数以上(55パーセント)が、侵害、マルウェア、脆弱性、ゼロデイ攻撃などの一般的なセキュリティ問題への懸念を指摘しました。多くのアナリストがセキュリティ産業の売上高を年間約700億ドルと推定する現在、セキュリティがIT部門の最大懸念としてランクされるのは当然でしょう。残念ながら、ネットワーク上の機密データを盗もうとしてネットワーク内の脆弱性をつく悪意を持った人間の試みをはねのけるのに十分な用意ができていないというのが、現行システムの厳しい現実です。

これら悪意を持ったグループは、犯罪組織などによって資金を提供され、非常に洗練された手法を使用します。セキュリティ対策のために膨大な費用をかけても、1年前、5年前よりも安全になつたと確信を持って言える人は一人もいないでしょう。ビジネスを展開する上である程度のリスクは覚悟しなければならないとしても、そのリスクを認識して脆弱性が見つかれば対処できるよう管理することにより、壊滅的なデータ喪失を避けながらデータをビジネスに有効活用していくことが可能になります。

アンケートに寄せられたコメントより：

「私たちの最大の課題は限られたリソースでネットワークのセキュリティを保ち、安定したネットワークを提供することです。」





サイバー攻撃は、洗練されて資金も豊富な悪意あるグループによるものであり、ネットワークのほとんどどの部分でも攻撃対象になります。中でも、ある場所から他の場所へと移動中のデータは最も攻撃されやすく、データ損失に結びつく高い可能性を内包します。

セキュリティを最重要課題とした人たちの中で、39パーセントと2番目に高かった問題は、社外へのデータがある場所から他の場所に安全に移動させることでした。業務上の情報であれ個人的な情報であれ、情報を転送するとき、使用しているツールに潜在的な落とし穴があり得ることにはほとんど思い至らないユーザーが多い点をIT管理者は憂慮します。また、データファイルを簡単にメール送信したり、Dropboxなどの無料サービスを使ったりするユーザーもいますが、これは転送後も長い間その情報が知らないうちにアクセスされかねない危険にさらされることを意味します。

懸念項目としてコンプライアンスを挙げるIT管理者もいました。金融、医療などの制約が厳しい産業では、重要データの完全な透明性と確実なデータ保護が求められます。監査にあたって必ずしも十分に準備できていないことを自覚し、自信が持てないIT管理者も多いようです。

セキュリティがIT部門の最重要課題であり、ネットワークを操作しようとする外部からの攻撃が懸念されています。ファイルや情報を安全に転送したり、セキュリティ上のコンプライアンスを遵守することも重要な課題です。

アンケートに寄せられたコメントより：

「プライバシー保護のためにファイルを暗号化して安全な方法で転送することが重要です。」



#2. ITインフラストラクチャの監視

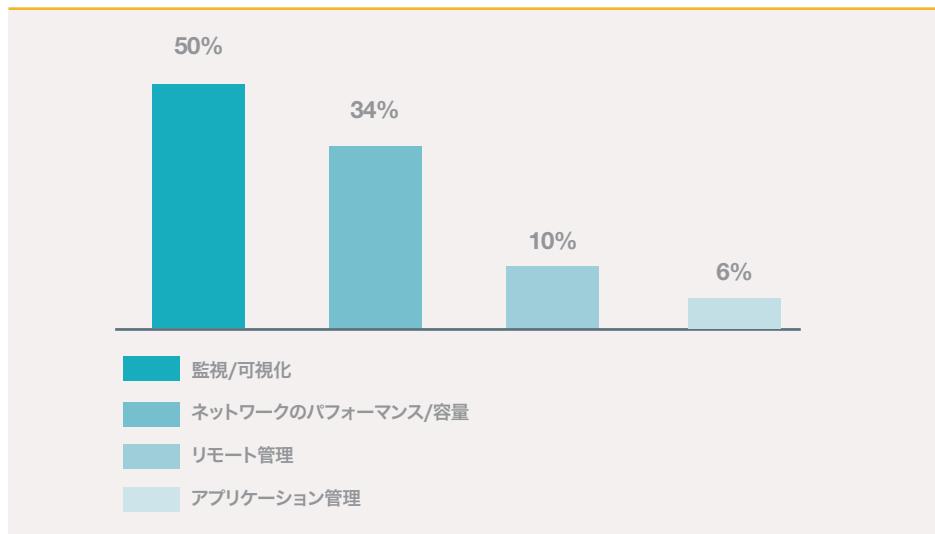
アプリケーションのパフォーマンスを含むITインフラストラクチャの監視を最重要課題と認識する回答者が19パーセントでした。

このカテゴリーでは、半数がシステム、アプリケーション、ネットワーク、仮想環境、ウェブサーバーなどを含むインフラ全体を可視化して監視することの重要性を指摘しています。ネットワークのパフォーマンス全般(パフォーマンスが下がる問題や、負荷の割り当てなど)を課題とする人たちはそれに次いで34パーセントでした。

ネットワーク上のアプリケーションに大きく依存する企業ではアプリケーション中断がビジネス中断に直結しますから、アプリケーションのパフォーマンスを確保することはIT部門の重要な仕事です。しかし、アプリケーション、サーバー、仮想環境、ネットワークに接続したデバイスなど、すべてのインフラストラクチャに目配りをして、常時ネットワークを効率的、効果的に稼動させ続けなければならないIT部門が、ネットワークのパフォーマンスを高く保つことは容易なことではありません。この状況にさらに拍車をかけてIT部門へのプレッシャーを増大させるのが在宅勤務などによるリモートアクセスの増加で、リモート管理への懸念を指摘したIT管理者も10パーセントいました。

アンケートに寄せられたコメントより:

「2015/16年の一番の課題はインフラストラクチャをパフォーマンス、容量を向上させ、機敏性、頑強性を高めるように再構築することです。」





#3. 新しいテクノロジー、アップデートとデプロイ

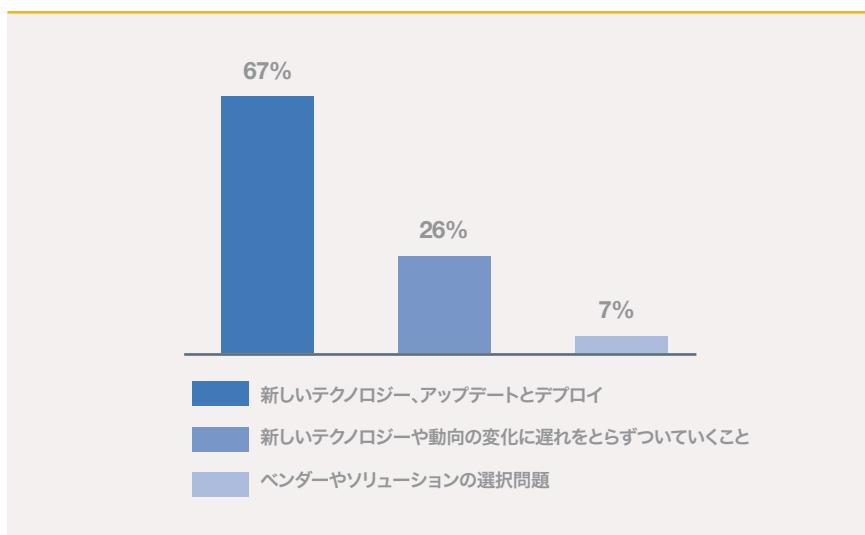
新しいテクノロジーを選択し、デプロイし、管理する能力の重要性を多くのIT管理者が指摘しました。

このカテゴリーを選んだ人のうち3分の2(67パーセント)が、組織に必要なアップデートを行い、新しいテクノロジーを取り入れることをIT部門が取り組むべき一番の課題と考えていました。新しいテクノロジーや業界の動向に遅れをとらずについていくことを困難な課題ととらえる人たちの割合は26パーセントでした。最適なベンダーやソリューションをどう選択すればいいのかが難しいと考える人たちも7パーセントいました。

ITインフラストラクチャのどこをいつアップデートするべきかを決定することは、事業を確実に継続させていく上で最も重要な戦略的決定の一つになり得ます。実際、現在の環境に新しいテクノロジーを導入しようとするときには何百もの考慮すべき点が出てきます。既存のテクノロジーとの互換性はあるのか?拡張性は?エンドユーザーの教育はどの程度必要か?IT部門のメンバーは新しいテクノロジーについてよく訓練されしっかり準備できているか?ほかの重要なプロジェクトにあてるべき予算に影響は出るのか?これらは、新しいテクノロジーを取り入れようとする際に考慮しなければならないことのごくわずかな例ですが、いずれも熟慮が必要な難しい問題です。

アンケートに寄せられたコメントより:

「新しいテクノロジーを導入して、サポートスタッフに業務での効率と生産性を上げるためにどのようにそれを使うべきかを理解してもらうことが最重要課題です。」





#4. 時間、予算、リソースの制約

IT部門は、常により少ないリソースでより多くを達成することを要求される立場にあり、激化する競争のあおりを受けてダウンサイジングの矢面に立たされます。

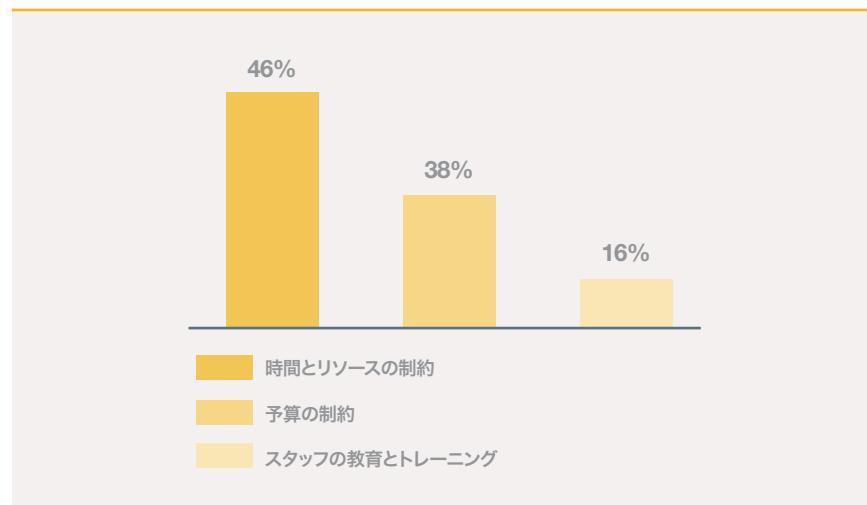
時間とリソースの制約と戦いながらIT部門に課せられた業務をこなすのは普遍的な問題ですが、これをITが直面する最大の課題に挙げたIT管理者は10パーセントに達しました。そのうち半数近く(46パーセント)は時間とリソースの制約が効率的な業務遂行の妨げになっていると考えています。必要な業務を支障なくこなすのに障害となるのは予算に制約があることだと指摘する

IT管理者も38パーセントいました。残りの16パーセントはIT部門やその他部門のスタッフの教育とトレーニングを大きな課題としています。

IT部門が対峙する難問は複雑さとリスクがますます高まるIT環境において、どのように活路を見出すかという問題です。人員と予算が増えないあるいは縮小される中で深まる複雑性を管理するためには、時間とリソースを節約でき、大幅な予算を必要としないシンプルで強力なIT管理ツールが必要になります。

アンケートに寄せられたコメントより：

「毎日の業務とプロジェクトをなんとかこなしながら、メンテナンスも怠ることはできません。必要業務をこなすのに時間は常に足りず、スタッフも慢性的に不足しています！」





#5. ビジネス上の問題

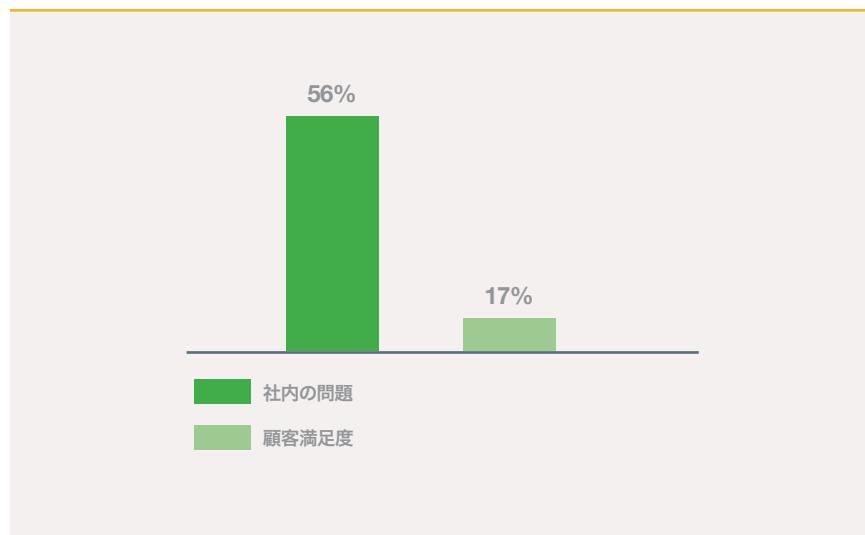
社内コミュニケーションや顧客満足度などのビジネス上の問題もIT業務をスムーズに遂行する上で重要な課題と認識されています。

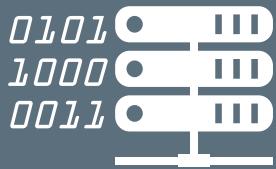
ビジネス上の問題のうち、社内の問題は56パーセントで、17パーセントは顧客満足度の問題を指摘するものでした。すべての組織に存在する複雑性、部門にまたがるダイナミックな変化、競合との関係による優先順位付けなどは、IT部門への大きな負荷にな

り得ます。組織内の各部門がそれぞれビジネス・ゴールや行動計画を持っており、それらはITからのサポートを必要とします。IT部門は予算やリソースの制限が大きく、ときにはあるプロジェクトを打ち切らなければならないような困難な決断を強いられます。社内の駆け引きに巻き込まれることなく、IT部門本来の業務の遂行に集中できるかどうかは、IT部門にとって重要な関心事です。

アンケートに寄せられたコメントより：

「別々のIT部門がよくコミュニケーションし、相互に効果的にコラボレーションすることが課題です。」





#6. データ管理と保管

データ管理の問題もIT管理者を悩ます問題です。6パーセントがこのカテゴリーを重要課題だと答えました。特にビッグデータなどをどのように管理、保護、保管するべきかという問題には大きな関心が寄せられました。

コスト制限がある中でデータを安全かつアクセス可能なように保つことは容易なことではありません。データの価値、データがビジネスの成功のためにどれほど重要かという話は、ここ何年もの間強調され続けています。企業にとってデータが極めて重要なことは否定しようありませんが、必要なときにすぐにアクセスできるようデータを維持し、保管するのに必要な実際の費用とリソースという面を考慮しないわけにはいきません。保管にかかるコストが大幅に低減しているとは言え、保管すべきデータ量は比較にならないほどの勢いで増大しており、電力や設備管理などの二次コストもそれに伴って増加します。

さらに、大きな障害が生じた場合にデータを効率的に回復させることも非常に困難です。二重データセンター方式にしてリスクを避けようとすれば必要なコストは何倍にも膨れ上がり予算超過になります。結局バックアップに関しては急場しのぎの間に合わせですませようとする場合が多くなりますが、個々の状況に応じて様々な問題が発生することになります。

アンケートに寄せられたコメントより：

「私たちの最大の仕事は現在のところ内部および外部の複数のソースからデータを収集することです。それぞれのソースが、データを含むシステムに接続するのに異なるプロトコルを使用しています。新しいデータソースをオンラインで使用できるようにするのはいつも大変な困難を伴います。」



#7. デバイス管理とエンドユーザー問題

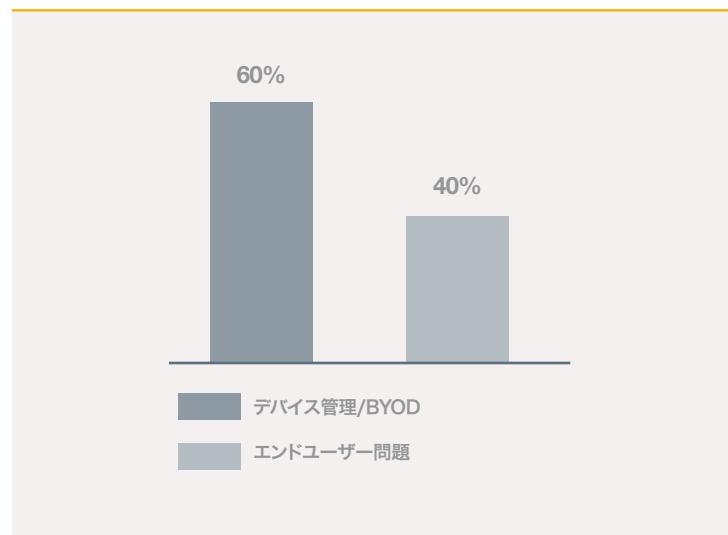
BYOD ポリシーを策定するなどして、社員が個人のデバイスを会社に持ち込んで使用することを容認する会社も多くなってきていますが、ネットワークに接続するデバイスを管理しなければならないIT部門にとってBYODはインパクトの大きい問題になり得ます。

タブレットやスマートフォンに加えて会社でウェアラブル・デバイスを着用する人も出てくるようになり、デバイス管理とエンドユーザー問題をIT部門の重要課題に挙げるIT管理者は全体の5パーセントを占めました。

このカテゴリー中、デバイス管理あるいはBYODを課題と指摘した回答者は60パーセント、デバイス管理に密接に結びつくエンドユーザー問題を課題と指摘した回答者は40パーセントでした。BYODによって内部データを安全に保護することがより難しくなり、どのデバイスをどのように監視するかという問題も出てきます。エンドユーザーから要求の高まりはIT部門へのプレッシャーとなるのに加え、エンドユーザーの教育も考えなければなりません。より良いサポートを効率的に提供するという課題も含まれます。

アンケートに寄せられたコメントより：

「社員が個人のデバイスをサーバーに接続して使用するときにデータを保護することが最大課題です。」





#8. 自動化とレポート

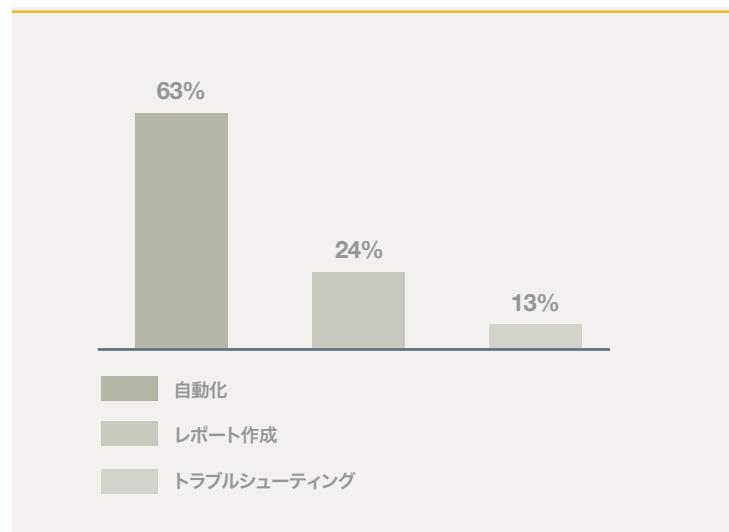
全体から見ると4パーセントになりますが、必要だけれども時間がかかるITタスクを自動化しレポート作成することを重要課題とするIT管理者が一定数いることも注目に値します。

このカテゴリーの内訳は、ITタスクの自動化が63パーセント、レポート作成が24パーセント、トラブルシューティングが13パーセントでした。

ITリソースには制約が多いので、限られた時間をどのように使うかは大変重要な問題です。少ないリソースでより多くを求められるIT部門では、できる限り多くの定型業務を自動化する方策が重要戦略になり得ます。日常業務や規制遵守、コンプライアンス・ポリシーの実施などに伴う時間がかかるタスクの多くは、適切なテクノロジーを利用すれば効果的に自動化できます。自動化で有效地に使えるようになった時間は、より重要なITプロジェクトに取り組んだり、業績に影響を与える重大事項について検討したりするのに割り当てることができます。

アンケートに寄せられたコメントより：

「業務の品質と正確性を保ちつつ業務処理能力を向上させ、リソース・コストを削減するには手作業で処理していたプロセスをできるだけ自動化していく必要があります。」



まとめ

本ホワイトペーパーでは、2016年を迎えるにあたって、ますます深まる複雑性に適応し時代に即したビジネスを展開するためにIT部門にとっての重要課題の統計結果をまとめました。

ITインフラストラクチャへの脅威は増大し、セキュリティ問題は深刻です。可視性を確保してパフォーマンスを監視する必要性が高まる一方、予算とリソースの制約はIT部門の普遍的な悩みです。あまりに多様な選択肢があるため、新しいテクノロジーを選択し、デプロイするにも高度な能力が必要になります。多様化の波は社員にも及び、IT部門は気に入ったアプリケーションを搭載した個人のデバイスを使いたがる新しいタイプの社員にも対応しなければなりません。

困難なビジネス上の問題をうまく解決しないと重要なITプロジェクトに悪影響が及びかねず、業務を適切に機能させるためにはデータとシステムをしっかりと保護・管理する必要があります。より重要な活動に専念するため定型的なIT業務を自動化する能力も問われます。

イプスイッチ社について

イプスイッチ社は、複雑なIT問題を解決するシンプルなソリューションを提供します。システム・関連会社・顧客との間でファイルを転送したり、ネットワーク・アプリケーション・サーバーなどを監視したりするのに使われるソフトウェア製品群は、世界中の何百万というお客様から信頼を得ています。1991年に創立され、米国マサチューセッツ州レキシントン(ボストン郊外)に本社を置きます。米国内数ヶ所とヨーロッパ、アジアに拠点があります。詳しくは、www.ipswitch.com をご覧ください。



WhatsUp Gold は、セキュリティ、インフラ監視、デバイス管理、リソース制約、自動化などの重要な IT 部門の課題を解決するためのツールになります。

[WhatsUp Gold ネットワークとサーバー監視ソリューションの30日間無料試用版をダウンロードする >](#)

IPSWITCH